

# 週間漁海況情報 2022年第6号

令和4年2月8日発行

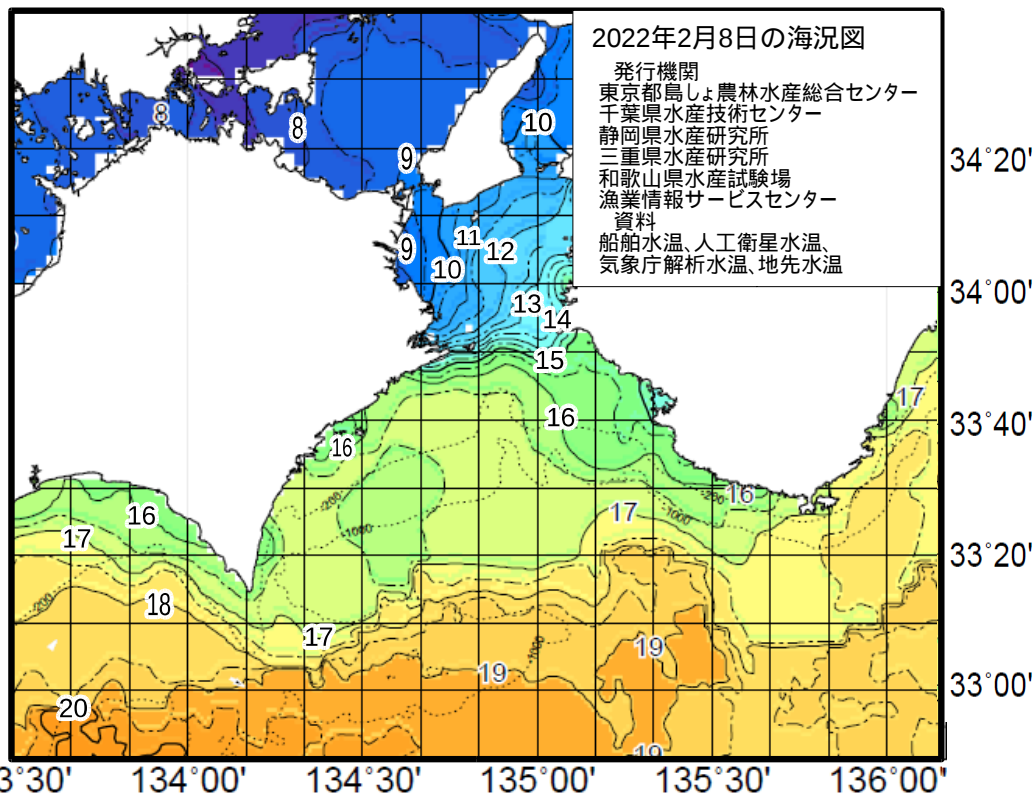
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖118マイル、潮岬沖92マイル以上を流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」となっている。このため、室戸岬側からの海部沿岸への暖水波及は弱まっている。

黒潮の表面水温は20～21台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が8～9台、紀伊水道が8～13台、海部沿岸が14～16台となっている。



黒潮の離接岸の表現

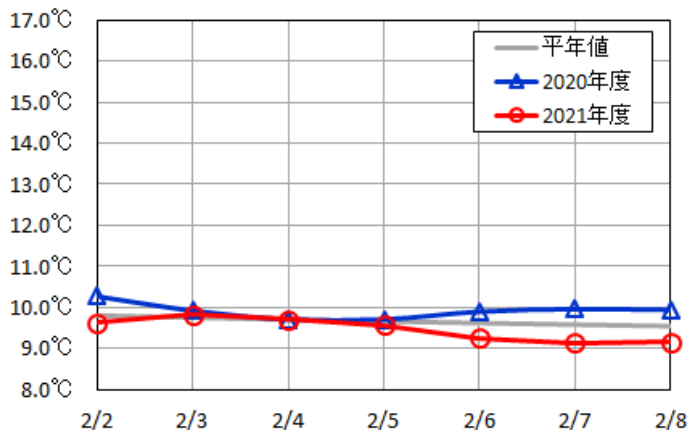
(いずれも正南方向)  
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～  
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

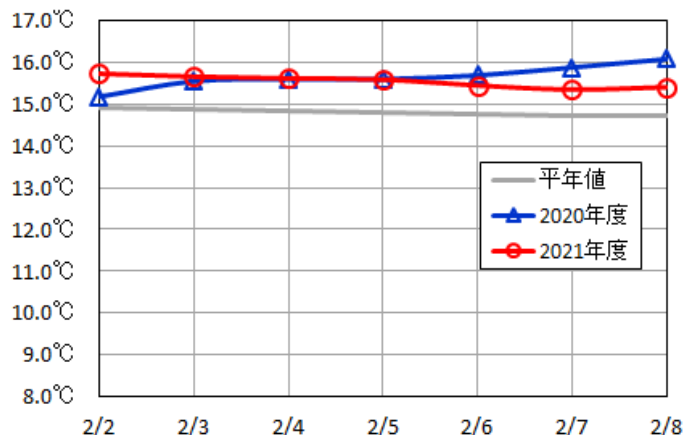
### 2. 地先水温(2月2日～2月8日)

鳴門地区の水温は9.8～9.1 で「平年並み」、日和佐地区は15.7～15.4 で「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は5.8～6.3 となった。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満  
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

### 3. 週間予報(2月9日～2月15日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや低め」、日和佐地区は「やや高め」から「平年並み」に推移する見込み。

**漁況** (1月31日～2月6日)

**1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)**

延縄では、サワラが大主体に0.5トﾝ、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.5トﾝ水揚げされた。

建網では、メジナが減って0.3トﾝ、タカノハダイが0.3トﾝ水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて0.7トﾝ、ボラが増えて大主体に0.5トﾝ、ブリがめじろ級主体に0.3トﾝ水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大主体に0.6トﾝ、シリヤケイカが大きく減って0.5トﾝ、えそ類が減って0.3トﾝ水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)**

釣りでは、ブリが増えて中主体に2.5トﾝ、タチウオが大きく減って0.4トﾝ、カツオが大きく減って0.4トﾝ水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが大きく増えて1.4トﾝ、マアジが大きく増えて豆あじ主体に0.7トﾝ、メジナが増えて0.2トﾝ水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく減って豆あじ主体に0.4トﾝ水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トﾝ以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	27	サワラ	506	19	大主体	→
		18	ブリ	467	26	めじろ級主体	
	建網	33	メジナ	306	9		
		35	タカノハダイ	271	8		→
	小型定置網	18	マアジ	688	38		
		10	ボラ	484	48	大主体	
		16	ブリ	279	17	めじろ級主体	→
	底びき網	21	コウイカ	577	27	大主体	→
		21	シリヤケイカ	471	22		
19		えそ類	285	15			
海部沿岸	釣り	47	ブリ	2,454	52	中主体	
		8	タチウオ	444	55		
		20	カツオ	434	22		
	小型定置網	15	カタクチイワシ	1,353	90		
		12	マアジ	682	57	豆あじ主体	
		8	メジナ	241	30		
	大型定置網	4	マアジ	405	101	豆あじ主体	

前週比    200%以上:    120-200%:    80-120%:    50-80%:    50%未満: